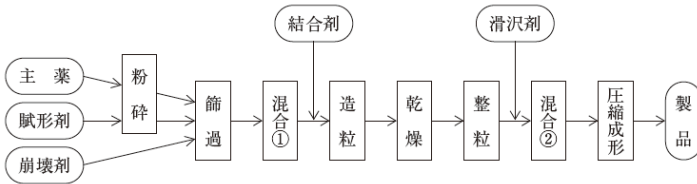


# 103-177

## 問題文



1. 粉碎を行うと、主薬が分解することがある。
2. 結合剤を粉末のまま用いると、水溶液で用いた場合に比べ、均質な造粒物が得られる。
3. 混合①から乾燥までの操作を同一装置で連続的に行うには、流動層造粒機が適している。
4. 滑沢剤の添加量が多いほど、整粒した粉体の流動性が高くなる。
5. 図の原料の組合せと工程は、トローチ剤の製造に用いられる。

## 解答

1, 3

## 解説

選択肢 1 は、正しい記述です。

アスピリンの粉碎による分解などが知られています。

選択肢 2 ですが

結合剤として例えばデンプンを考えます。水溶液にするとデンプンのりです。「水溶液」の方が均等に全体に行き渡り、均質な造粒物が得られると考えられます。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい記述です。

選択肢 4 ですが

滑沢剤を加えすぎると流動性が低くなります。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

トローチは、口の中で崩壊しない方が望ましい剤形です。崩壊剤は、用いられません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,3 です。